

## 創薬をめざした肺癌細胞株および疾患モデル動物の開発に関する研究

### 1. 研究の対象

当院（大阪国際がんセンター）で肺癌と診断され、診療の過程で腫瘍組織（手術・生検）や胸水等が採取された患者さんのうち、「Cancer Cell Port がん細胞バンクの構築」研究（文書名『診療目的で採取された血液・組織などの提供と、研究用採血等による医学研究へのご協力のお願い』）（承認番号 18035）に基づき試料が保存され、本研究での利用について拒否の申し出（オプトアウト）がない方が対象となります。

### 2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日～2031年3月31日

研究目的：肺癌の癌発生の機序や薬剤感受性を明らかにすることです。

研究方法：当院で診断・治療を受けた肺癌患者さんから、通常診療で採取された腫瘍組織や胸水等の残余試料（「Cancer Cell Port がん細胞バンクの構築」研究：承認番号 18035 で収集された試料）を用いて、肺癌細胞株（必要に応じてオルガノイド等）を樹立します。樹立した細胞を用いて、遺伝子解析（例：全エクソーム解析、RNA シーケンス等）や薬剤感受性評価を行います。さらに、樹立細胞をヌードマウス/NSG マウス等へ移植して腫瘍形成・転移モデルを作成し、候補薬剤の薬効を評価します。これらは研究用 ID で管理し、個人が特定されないように扱います。

（資金源）本研究は公的研究費（科研費等）および共同研究費・受託研究費等により実施します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、喫煙歴、組織型、病期、遺伝子検査結果（診療で実施された範囲）、治療内容（レジメン等）、治療効果、予後、画像データ、研究用識別コード（研究 ID）等

試料：手術・生検で得られた腫瘍組織の残余試料、貯留胸水（必要に応じて心嚢液等）、（可能な場合）剖検標本 等 また生検検体から樹立された癌オルガノイド株

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 國政啓

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：呼吸器内科 國政啓

-----以上